

平成 19 年度
みやこ町海外ホームステイ事業

報告書

Australia 2007

目次

研修日程 3

研修の思い出 5~32

アンケート結果 研修生編
 保護者編

終わりに 随行者あいさつ



＜事前研修＞

日程等	場 所	内 容
事前説明会 6/8 (金)	サン・グレート みやこ	<ul style="list-style-type: none"> ・手続き関係の説明
第1回 6/27(水)	サン・グレート みやこ	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ ・自己紹介 ・手続き関係等の説明 (ビザ、航空券、保険、国事情など) ・研修内容の説明
第2回 7/11(水)	サン・グレート みやこ	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ編成、自己紹介 ・行き先の紹介：西オーストラリア州、パース市 ・前回ホームステイビデオの上映 ・移動について ・お礼（出し物）について ・英会話教室：自己紹介、好き嫌い
第3回 7/25(水)	サン・グレート みやこ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーとホームステイ、 家での生活について、電話 ・自分の目標を作ろう ・英会話教室：好き嫌い、してもいい？ 気持ちを伝える、家庭での英語
第4回 8/5 (日)	英彦山	<ul style="list-style-type: none"> ・山に登ろう！ ～同じ目標に向かって～ ・みんなで昼食
第5回 8/10(金)	サン・グレート みやこ	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の中身の再確認、持参するもののチェック ・英語教室：困ったとき・緊急事態、役に立つ英語 ・事後研修のための準備 (報告書・アンケートの作成) ・出し物練習



研修日程

<本研修・事後研修>

日程	場所	コース
8/18 (土)	みやこ町 福岡空港 シンガポール パース	<ul style="list-style-type: none"> みやこ町から福岡空港国際線ターミナルへ 出国手続き後、シンガポールへ 乗り継ぎ後、オーストラリア パースへ パース到着。入国手続き後、ホテルへ
8/19 (日)	パース	<ul style="list-style-type: none"> 市内観光（コテスロ・ビーチ、レイク・モンガー、キングス・パークへ） 昼食後、ホストファミリーとご対面、各家庭へ
8/20 (月)	パース	<ul style="list-style-type: none"> バラジューラ・コミュニティ学校へ登校 午前：英語・文化レッスン 午後：現地校生徒の授業に参加
8/21 (火)	パース	<ul style="list-style-type: none"> バラジューラ・コミュニティ学校へ登校 午前：英語・文化レッスン 午後：カバシャム・ワイルドライフ・パーク見学
8/22 (水)	パース	<ul style="list-style-type: none"> バラジューラ・コミュニティ学校へ登校 午前：英語・文化レッスン 午後：現地校生徒の授業に参加
8/23 (木)	パース	<ul style="list-style-type: none"> バラジューラ・コミュニティ学校へ登校 午前：英語・文化レッスン 午後：スポーツ交流、現地校生徒と交流授業、お別れ会
8/24 (金)	パース シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ホストファミリーとお別れ フリーマントルを見学、昼食 出国手続き後、シンガポールへ 乗り継ぎ後、福岡空港へ
8/25 (土)	福岡空港 みやこ町	<ul style="list-style-type: none"> 福岡到着。入国手続き後、みやこ町へ 到着後、解団式
事後研修 9/28 (金)	サン・グレート みやこ	<ul style="list-style-type: none"> 報告ビデオ上映 研修生による発表



研修の思い出

T. I. 勝山中学校1年

ホームステイ家族：Crisa

お父さん：Tullio お母さん：Trish

子ども：Trent, Nick & Grace



「色々な事があったホームステイ」

オーストラリアへの初めてのホームステイは、楽しかった事や驚いた事がありました。

ホームステイ先の家では、トレントと一緒にサッカーゲームなどをして、トレントやその家族達とたくさん話をして、コミュニケーションをとりました。

学校では、友達が10人以上もできました。H.Rや休み時間で、たくさん話をしました。友達の中には、日本語を少しだけ話せる人がいて、とてもびっくりしました。僕が休み時間でやったことは、ほとんどオージー・フットボールでした。オージー・フットボールはオーストラリアだけにあるスポーツです。普通のフットボールとは違って、ボールを蹴ってパスをしたりします。このスポーツは国の人ならほとんど大好きなので、一緒にやったり、授業で練習をした日もありました。

学校に行き始めてから2日目の火曜日の午後からは、「カバッシュム・ワイルド・パーク」という動物園に行きました。うれしかったのは、カンガルーやコアラ、ウォンバットに触れたことです。ウォンバットは、抱きかかえて写真を撮ることができました。

研修の思い出

ほかにも、ディンゴやタスマニアデビルなどもいて、とてもかっこよかったし、かわいかったです。

今年の夏はとてもいい体験をさせてもらいました。行く前までは、「僕が話す英語はちゃんと通じるか、相手の言っている英語は理解できるか」と、少し不安な気持ちはあったけど、相手に英語で話したことが通じたり、相手の言っている英語が何を言っているのか分かると、英語の力をもっともっと身につけたいなと思いました。

オーストラリアは自然がいっぱいで、人がとても優しく過ごしやすい場所でした。いつか機会があったら、また行きたいです。



ホームステイのお家で生徒達と一緒に夕食

研修の思い出

中学校2年

ホームステイ家族： ar

お父さん： Anthon お母さん： atie

子ども： auren & annan



私のホストファミリーは、父と母とローラ(12)とハナ(9)の4人家族でした。みんなとても優しく、毎日楽しい日々を過ごしました。よかったです。英語をゆくり言ってくれた事です。ホストファミリーの人の言っている事が私に伝わりなかつたらゆくり言ってくれたり、紙に書いてくれたりしてくれたからとても助かりました。それと、学校の生徒が話かけてくれた事です。じとだま、てた私に話かけてくれて本当にうれしかったです。友達もたくさんできました。逆にきつかったことは、飛行機の待ち時間です。シニガポール空港での待ち時間が2時間もあり、夜の1時ごろだったのでとてもおなかつたです。でも、シニガポール空港は広いから友達と買い物をしてると、時間があつという間に過ぎたような気がしました。私は、オーストラリアに行く前と行った後に比べて英語がたくさん話せるようになったわけではありません。でも、オーストラリアの人との交流で、英語の難しさを改めて感じ、そして、も、と今まで以上に英語をがんばろうと思います。だから、この素晴らしい経験をこれからの人生に少しでも役立てたいなと思いました。そして、も、とたくさん英語が話せるようになったらなと思います。これからも勉強をがんばろうと思います。

研修の思い出

ロイド先生と一緒に



ーリング場でホスト と



ホストファミリーの と



ホストファミリー と家の前で



研修の思い出

・ ・ 中学校1年
ホームステイ家族： Macdonald
お父さん： David お母さん： Susan
子ども： Stacey & Matthew

よかったこと
・ホストファミリーとの
思い出 できたこと

手 ったもの
・中

ホームステイを終えて

8月18日、オーストラリアへ行く日が来た。初めての海外、ホームステイ。とても不安でした。まず、福岡空港からシンガポールへ向けて離陸しました。シンガポールの空港は予想以上に広く大変驚きました。いよいよオーストラリアへ・・・。

到着したのは真夜中でした。19日の午前中は市内見学、午後はとても楽しみにしていたファミリーとの対面でした。Macdonald一家は、母Susan(スーザン)、父David(デービット)、姉Stacey(ステイシー)、弟Matthew(マテュー)の4人家族でした。Matthewとはゲームをしたり、お土産に持って行った剣玉や折り紙を折って遊んだりしました。

20日は、Matthewと一緒に学校へ行きました。学校では大勢の生徒からいろいろなことを聞かれた。学校一日目はとても疲れました。

21日は、動物園へ行きました。コアラ、カンガルー、ワラビー、タスマニアアンデビルなどオーストラリアならではの動物がたくさんいました。家に帰ってからMatthewたちとサッカーをしました。

22日は、フットボールやクリケットの説明を受けた後、フットボールを蹴ってみました。また、近くのビーチへ行った。海に入ると、日本の冬まではいかないがとても冷たかった。

23日は、さよならパーティーをしました。サンドウィッチやロールケーキなどをたくさん食べました。その後、オーストラリアのお土産を頂き **Waltzing Matilda** を歌いました。

24日、とうとうやってきてしまった。5日間お世話になったファミリーとの別れのときが・・・とても悲しくなっていました。

その後、フリーマントルに行ってお土産をたくさん買いました。

そして、長時間飛行機に乗って翌日25日の朝、福岡空港についた。日本に帰ってきた。時間がゆっくりと流れていった。

今回のホームステイの経験が、これから先、役に立つこともあると思うのでこのことを忘れずにがんばっていきたいと思います。本当に楽しい8日間でした。

研修の思い出



お母さん っ て れたので、
写っていないの 念…

思い出 スト 2

- 1 ファミリーと ごしたこと
- 2 ビーチへ行ったこと



カバシャム・ワイルドライフ・パークの
た さんのカンガルー



校長先生と一緒に…

atthe と 後の写真



研修の思い出

中学校2年

ホームステイ家族： lack urn

お父さん： Charles お母さん： enni er

子ども： iara & Ashlei h

よかったこと

・た さんの 達と

れあえたこと

きつかったこと

・英語 う 伝え

られなかったこと

私はオーストラリアに行き、一番はじめに恋したたのが和食です。オーストラリアでは、朝はコンフルワカパンで昼食はハンバーグ、夕食はおかずだけの日が多かったです。その生活をくり返していつかにご飯と味噌がものすごく食べたくなりました。

オーストラリアは日本と季節がちがうのでとても暑かったです。でも向こうの子どもたちは半そでに登校している人が多かったのをびっくりしました。私と姉がみんなバスで学校へ行ったので他の生徒の視線がとても痛かったです。最後の日はたれませんでした。

向こうのご飯が一番ありえなかったのが、3日目の夕食です。その日は昨日あまったパスタをヌードルにして食べたのです!! ... 私の口にはあいまありません。「おいしい?」とまかれて、「おいしい」といってしまったので、次の日も出てくるか心配でしたが、でてこなかったのが安心でした。あとのご飯は本当においしかったです。

アシェリーが夕食の時お母さん達に「後で日本語ペチャペチャしゃべられて何? みたいな感じ!!!」みたいなこと言っていて私はじの中不「あなたが今ペチャペチャ英語を話しているのこちにして見たら「What?」みたいな話をしてかんだいでした。

動物園へ行ったけど、カンガルーは見たことあるからあまりかわいとは思わなかったけど、コアラはかわいいと思いました。でも、かわいいのつかれて動物園をキョーキョー言えるような状態ではなかった

研修の思い出

です。
オーストラリアでは「帰りたい」とか言っていたけど、とてもいい経験になりました。ホームステイに参加してよかったと思います。友達もできたので満足です。



ホームステイの家でアーシェリーと

- 思い出 スト3!**
- 1 の子と たこと
 - 2 アーシェリーと ンスしたこと
 - 3 みんなでシ ッ グ



現地生徒たちと一緒に



学校前でアーシェリー達と一緒に

研修の思い出

思い出 スト3!

勝山中学校3年
ホームステイ家族: iae
お父さん: la a お母さん: elena
子ども: o ana

- 1、 をしたり、おし りを
したりして り上 ったこと
- 2 ホームステイ の ットとた さん
ん こと
- 3 シ ッ グ

私がこの感想文を書いているのは帰国から5日後の8月29日です。つまり、あまり覚えていません。こんなことならもっと早く書いておけばよかった... 帰るまでにでも書くべきだった。はあ。でも悔やんでも仕方のないことなので、真面目に書くと思います。

それと、全く感想文には関係のないことですが、せめてなので書いておきます。そもそもホームステイとは何ぞや という貴方へ。

私も気になったので、辞典を引いてみました。でも、私の家にあるものには載っていませんでした。脱力。何が昭和47年だるぼけるな老いぼれがこの役立たず。気を取りなおして、ネットで調べてみました。お、かかった。あ、い、な、あ、900 辞書さんは。

ホームステイ [homestay]

外国人留学生などが滞在地の一般家庭に寄留し、広く生活体験をする制度。

... だそうです。何か、かっこいいですね。

というわけで、留学生という程ではありませんが、私はオーストラリアの一般家庭に寄留して「生活体験」をしてきました。

はい前置きおわりです。よし。結構スルスルちがんだ。大幅な短縮に

成功しました。やった。あ、このこり一枚だ。

もうひとがんばり。

がんばります。

左端の人はマクドナルドでバイトしています



研修の思い出

おいしかったもの ・ ・お 子 (ラミントンなど)	手 ったもの ・ きつい の れな いお 子
---------------------------------	------------------------------

父、母、娘と友人、そして私
手にはペットのペンです



では本文に入ります。用紙二枚目。

◎初日◎ はじめての海外。はじめての飛行機。それなりに きんちょう しました。

感想。長かったです。つかれました。

2日目は市内見学、その後、ホストファミリーと対面。3日目、4日目...と、

予定通りです。動物は可愛かったし、学校では英語だけでなくイタリア語まで

学びました。ええ、さっぱりでしたとも。校内は常にゴミだらけでした。

◎7日目◎ 朝、やや集合時間におくれました。学校をあとにして

フリーマントルを見学。そして昼食をとって、空港へ。ここで現地の案内役、

はやかわさんとお別れ。一緒に写真を撮りました。

◎最終日◎ シンガポール 空港から福岡空港に向かう飛行機の中。

窓から見た日の出は、さすがに5日たっても覚えています。きれいでいい。

着陸中に見た福岡の街は小さく、山も建物もおもちゃの様でした。

それが可愛くて、印象に残っています。

私がホームステイをして、何か変わったかと言われても、特にないと思います。

思いつきません。多分、一週間じゃそんなところだ"と思います。逆に、"早く"

帰る"と思っていたので、ホームシックにならぬに努めました。むしろ、もっと

居たから良かったら、さう。ちょうど良い期間でした。リスニングの勉強にもなったし。

よかったこと ・英語の になった	きつかったこと ・事前研修の登山
---------------------	---------------------

初めはホームステイなんて私には縁のないものだ"と思ってたけど、やはり行はよかったです。

私に行くようにすすめてくれて、お金をだしてくれたお父さん、お母さん、お世話さ

してくれたスタッフの皆さん、ありがとうございます。楽しくかったです。

研修の思い出

中学校1年

ホームステイ家族: ia e
 お父さん: la a お母さん: elena
 子ども: o ana



私がお世話になったホストファミリーたちは、お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、ヨヴァナ、犬のベン、サン、チェピ。だった。ホストファミリーに会うとき、私の心の中は、不安でいっぱいだった。私たちと、ホストファミリーの名前が書かれたとき、私の目に、一つの家族が映った。それは、一人のかわいい女の子と、スリリと背が高い女性だった。家に行くとき、女の子がいろいろな荷物をしてくれてくれた。女の子の名前はヨヴァナ。私とパートナの坂口さん。これからいろいろ楽しいことがあるだろうととてもワクワクした。家につくと、三びきのかわいい犬がおどまかえしてくれて。自分たちの部屋は、マイク三のポスターだらけで、とても今までの女の子の部屋、ほめた。一日目は、いろいろ分からないことをヨヴァナにおしえてもらった。2日目の夜はいろいろなことをおしゃべり。それと、お母さんの手作り料理が「ものすごく」おいしかった。またあの料理食べたいな。3日目の夜は、三人で早口言葉をした。ヨヴァナに、あたまがみ、あたまがみ、きまきがみをおしえてあげた。ヨヴァナは紙に書いて、なんともおもしろい。私たちもヨヴァナから、早口言葉をおそわたりした。それとヨヴァナに、「たちってと」と言ってみてと言った。外国人は、「ら」のはっおんがものすごく「まじ」かしく、とても言うのに苦勞していた。日本人だと、はっおんしにくいものがある。それは、Three, brother, Thank you, この三つの words に共通しているものは何だろう。ええ、「TH」である。私たち

おいしかったもの
 ・パスタとチキンを
 たもの
 手 ったもの
 ・フルーティーチキン

よかったこと
 ・スーパーで日本と
 う
 いろんな物を えた
 ・英語で ール できる
 ようになったこと

きつかったこと
 ・o ana の
 にタト をし
 てた

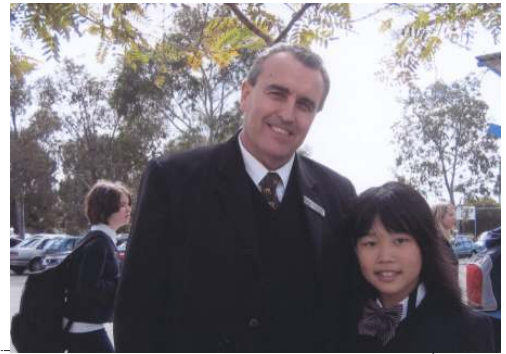


ホストファミリーと

研修の思い出

思い出 スト3!

- 1 日本語の たちつてと の発 を家族にしたこと
- 2 o ana "Tashikani"を えて っと っていたこと
- 3 リン 先生の日本語の自己紹介



校長先生と

は、かなり苦戦していた。私は、同じ人間なのに、すごいな〜とか思っていた。それから、たくさんしゃべって「Goodbye」と言って別れた。木曜日の。その日は、お店がお昼まで空いているため、買物に行き、たじろぐ大きくて、見るものすべてがめずらしく、私は一人でころもふんでいた。行ったのは、ヨウダナ、お母さん、坂口先生、私、そして友達のカシー、みんな(私が一番)たくさん買って満足していた。最後の夜、ヨウダナたちと、いしょにステーキを食べた。(カシーもいしょ)最後のごはんは、なぜか少し悲しかった。シーをあげ、ベッドの上で、さいごの荷物作りをした。犬のベッドいっしょだった。ベニはいつもと様子がちがうことに気づいたらしく、ソワソワしていた。私もなんだかおちっかなかった。というか、とてもさみしかった。あまりにも期間が短すぎた、せとなれてきて、ヨウダナとも、もと仲良くなりたかった。最後のあわかれの日、家の外に出たら、さくの内にサニがを見た。最後、最後なにをかも最後だった。私はサニをさあて、うしろがみ引かれる思いで家を出た。ベニはいしょに来るらしく、学校まで来てくれた。いしょは、バスにのるとき、みんなに別れを言った。バスが動くと、みんなが遠くなる。ゆいゆいの心のこりは、もう少し時間がほしいということだ。た。私がいつか大人になるとき、またいつか、いや、絶対パースに行っておの家庭にあつて、今度は、おんがえしがしたいと思った。

研修の思い出

中学校1年

ホームステイ家族: ensen

お父さん: enrik お母さん: aren

子ども: Clara & a es



ホームステイを終えて

オーストラリアに着くまで、とても不安でした。英語がちゃんと伝わるか、ホストファミリーと会話ができるかなど、たくさん心配がありました。でもオーストラリアに着くと不安などは、ぜんぜん頭になく、オーストラリアに着いたという気持ちでいっぱいでした。ホストファミリーと初めて会ったとき、きん引長にあまり話せませんでした。

でも、何日かになれこくとどんどん話せるようになりました。ホストファミリーとはいっしょにゲームをしたり、ショッピングをしたり楽しかったです。ゲームのルールを教えてもらったとき、ぜんぜん英語が理解できませんでした。でも、ゆっくり話してくれたので、ちゃんと理解することができました。

生活をしながらオーストラリアと日本のちがいを発見しました。このまま入る予定とびっくりすることがたくさんありました。

初めての学校の日、すごくきん引長しました。でも、みんな「ハロー」と言ってくれてきん引長がほぐれました。クララの友達とも仲よくなることができました。いっしょにお昼ご飯も食べました。

研修の思い出

よかったこと ・オーストラリアの文化を た さん学 こと できた	おいしかったもの ・サンドイッチ ・ラミントン
--	-------------------------------

思い出 スト3!

- 1 学校でみんなと ん こと
- 2 ホストファミリーと い物をしたこと
- 3 コアラとカンガルーをさわったこと

いっしょにフットボールもしました。とても楽しかったです。みんなと別れるときとても悲しかったです。もう少しいたかったです。すごく楽しい8日間でした。少しだけけど英語をしゃべれることができて思い出しました。これからも英語の勉強をしたいです。



みんなすご やさしかったです



後の日に N をし した。
とても しかったです



めてコアラをさわり した。
とてもかわいかったです

研修の思い出

家族の と

勝山中学校1年
ホームステイ家族: lack urn
お父さん: Charles お母さん: enni er
子ども: iara & Ashlei h



ホームステイを終えて

私は初めての外国、そして初めてのホームステイでした。日本を出発して飛行機の中でホームステイ先の人と仲良くできるかなとか、上手く自分の気持ちが英語で少しでも伝えられるかな、などと不安でした。1日目は福岡空港からシンガポール空港まで行き、またシンガポール空港からオーストラリア空港まで15時間かけて行きました。シンガポール空港はとても広かったです。パースに着いても、あまり「外国に来た」という実感がありませんでした。2日目はパースの観光をしました。とてもパースの町なみがきれいでした。その後中華料理店で食べました。昼食の後BCCのバスが迎えに来てバスでBCCまで行きました。今からホストファミリーに会えると思うと不安と期待で少しドキドキしました。ホストファミリーの人が笑顔で「Hello」と言ってくれました。少しずつ会話をしていくうちに不安がだんだんなくなっていました。ホストファミリーの人達がとても優しく気づかてくれていました。荷物を車まで運んで、つんでくれたり、とても「優しい」という印象でした。ホストファミリーの紹介です。お父さんのジェームズさん、お母さんのジェニファーさん。

研修の思い出

思い出 スト3!

- 1 ホストファミリーと ン こと
- 2 いろいろな所で 買い物したこと
- 3 パースの観光



所の とアーシェリーと



後の学校の日に

- しかったもの
- ・ サンドイッチ
 - ・

- 手 ったもの
- ・ ドル
 - ・ 肉食のカレー

- よかったこと
- ・ オーストラリアに 達 できたこと

- きつかったこと
- ・ 行 での移動

娘のアーシェリー、キアラです。ブラックボーンさんの

家には犬や猫、鳥、うさぎ、金魚などと、とても動物が多か、たです。プールもありとてもび、くりしました。

なかなか英語が伝わらな、たり、聞きとれな、たりしてどうしたらいいのかと少し思、ていました。

でも、ホストファミリーの人が紙を用意してくれて、私達 が聞き取れな、た時に書いてくれたので

とても良か、たです。風、うせんやおはじまなどを家でホストファミリーの人と近所の人で遊、びました。

遊、ぶうちになれてきました。日本をはなれて不安だ、た事がなくな、ていきました。ホームステイをして

良か、た事は、文化などにふ、れて、学んだ、り、少しだ、たけどコミュニケーションをとれた事です。きつか、た事は、日本語

を使、ても伝わらない事と、飛行機の乗りすぎで、たいくつだ、た事です。私はホームステイをして学んだ事は、自分から

積極的に話をする事と、自分の事は自分で責任を持つ事などです。文化が違、た所でホームステイする事で、とても

いい経験や体験ができて本当に良か、たです。これから学んだ事は、どん、どん生かしていったらいいなと思、ています。



コアラと一緒に

研修の思い出

中学校3年

ホームステイ家族: ile

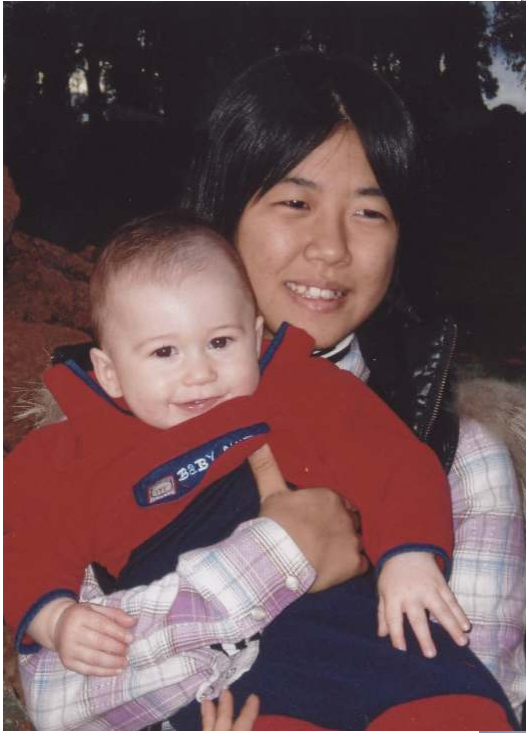
お父さん: arr Collins お母さん: ar aret Collins

子ども: Nicholas

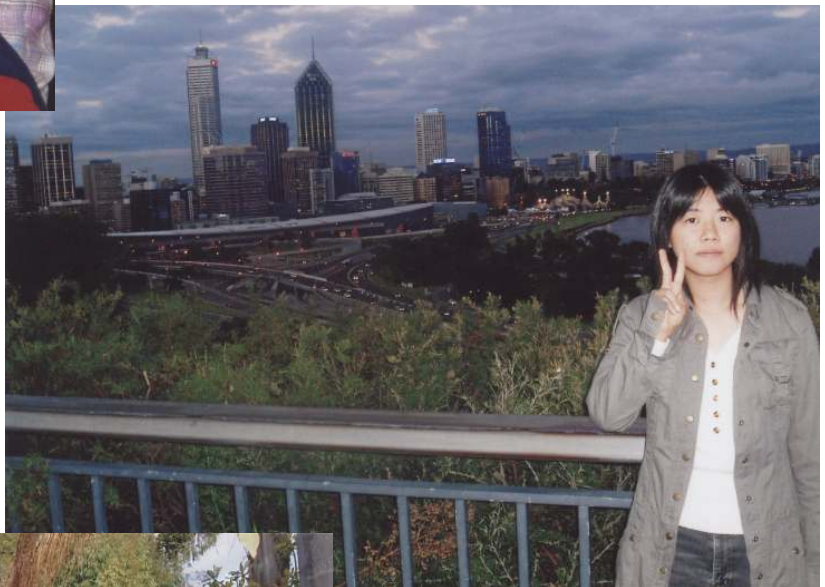
私のホストファミリーは、祖父と祖母とネグスト(12おのろ)人家族でした。よかったです。英語が全然分からない私を優しい受け入れてくれたところです。言葉が全然通じない中、かんばってし書を引いてくれて、コミュニケーションが良くとれました。よかったことは、オーストラリアと日本では言葉の順番が違うから訳しても意味が全然分からなかつたりしました。そんな時、絵を書いて相手に分かってもらおうと必死になってかんばりました。こうふりかえてみると、私は初めて言葉との壁とぶつかり苦戦しました。しうじきとでもつらかったです。ですが、得た物は、とても大きな物でした。言葉が通じなくても友達はでき、一緒に遊んだりおしゃべりしたり一緒にご飯食べたりと、いろんな体験をしました。そしてその体験をもとに私は、言葉は通じなくても思いが相手に伝えられるように成長したと思います。これまでに得た系至馬験をもとにこれからは、も、と色々な事が話せるように勉強(いけそう)になっても、このホームステイでの言葉の壁を乗り越えた時の事をせんぬいに思ったし、かんばって立ちなまりそれなりに英語が話せるようになりたいです。

研修の思い出

ちんと一緒に



学校でバディ達と一緒に



ホストの家の前でバディと



キングスパークの をバックに

研修の思い出

中学校1年

ホームステイ家族： ar

お父さん： Anthon お母さん： atie

子ども： auren & annan



楽しかったホームステイ

私はオーストラリアに行ってみたいと思っていたので、今回参加できて良かったです。

私がホームステイした家は、4人家族でみんなとてもやさしかったです。家の中はとても広くてきれいでした。1日目は家の案内をしてもらった後、アイスクリームを食べに連れていってくれました。ショッピングにも連れて行ってくれました。でも、英語が全然わからなくてすごく困りました。わからないでしまっていると、紙に書いてくれたりしてくるので、ちゃんとYesかNoで答えることができました。良かったときは、とても楽しかったです。帰ってディナーを食べました。ディナーは、バーベキュー、パスタ、ピザ、チキンカツみたいなもの、中華料理と毎日ちがって、どれもおいしかったです。夜に日本からのおみやげを渡したら、とても喜んでくれてうれしかったですし、逆に私たちも「アラのぬいぐるみと本をプレゼントしてもらってうれしかったです。

2日目から4日間、ローラといっしょに学校に通いました。ローラの友達が集まってきて何か話してきました。最初の日は何を話しているのかわからなかったけど、だんだん分かってきて話すのがとても楽しかったです。授業では、フットボールをしたのが1番楽しかったです。

ホームステイをしている日の夜に、ホストファミリーの人がホ-

研修の思い出

<p>よかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリー やさしかったこと 	<p>リノグにつれていって来ました。みんな楽しくて楽し、コミュニケーションがとれてうれしかったです。</p>
<p>きつかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たかかったこと 	<p>また、家の中では卓球をして遊びました。私は、ハンナといっしょのチームでした。あんまり続かなかつたけど、打つのがとても楽しかったです。</p>
<p>おいしかったもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディナー 	<p>お別れの日、プレゼントをたくさんもらいました。住所とアドレスの書いた紙とみんなでの写真もくれました。私はホストファミリーの人1人1人に心をこめて書いた手紙をプレゼントしました。家族みたいにやさしくしてくれたホストファミリーの人たちや学校の友達と別れるときは、とてもさみしくてつらかったです。本当に1週間、ありがとうございました。</p>
<p>手 ったもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肉食 	<p>この研修をとおして、英語も少し分かるようになったし、オーストラリアがとても好きになったので参加して良かったなあと思っています。今回行ったのはパース市でしたが、次行くときは違うところにも行ってみたいですね。夏休みのいい思い出ができて良かったです。</p>



ローランの 達と学校で



カンガルーにえさやり

研修の思い出

勝山中学校1年
ホームステイ家族: en on
お父さん: a ian お母さん: a



私は、オーストラリアにホームステイに行
て良かったと思います。

理由は、BCCに行くと、いろいろな子イ共
たちとコミュニケーションがとれたからです。

BCCに行くと、たくさんBCCの生徒さん
達が、話しかけてくれました。最初は、びっくりして
『yes』とか位しか答えられませんでした。た"んだ"、

た"んだ"んしゃべって行くうちに、言っている事が
分かってきて、英語では、ハムが、たまからたのて
ジェスチャーなどで、ハムをいしてコミュニケーションを
とりました。そして、いろいろな人達としゃべれたので
良かったです。また、ホストファミリーの家では、

相手も、私に分からないのかな? と思ったり、一生懸命
命に、身ぶり手ぶりで伝えてくれてくれた、うれし
かったです。なので、こっちもがんばって伝えよう!! と思い
分かる単語を使ったりして気遣をしました。あと電子
辞書を使ったりして、た"んだ"ん工夫をしてコミュニケーション
をとるようになっていきました。そして、伝えたいことは
きちんと伝えなま*りけなりのな、と思いました。

私は、今回のホームステイで学んだことをじゃう

研修の思い出

ぶん にかしていきたいと思いました。
また、行きたいなと思いました。なので、ホストファミリーの
人々、熊田さん、進さん、中村さん、はめかきさん、BCCA
生徒達等によてき 感謝しています。

学校にて



引率の人達と一緒に



鳥がたくさんいました

研修の思い出

. . . 勝山中学校3年
 ホームステイ家族: ensen
 お父さん: enrik お母さん: aren
 子ども: Clara & a es



オーストラリアでのホームステイ2日目。あいにくの雨でしたが、私たちはバラジューラコミュニティカレッジで初めて自分がお世話になるホストファミリーに会いました。私のホストファミリーは父のハンリック、母のカレン、6年生で私たちのホスト学生のクララ、弟のジェイムズの4人でした。迎えに来てくれていたのはカレンとクララとジェイムズで、私が勇気を出してあいさつすると明るく答えてくれました。その日はホームステイ宅に帰る前に市場みたいなところに寄りました。その時はあまりまだ話せませんでしたが、お母さんのカレンが私たちに市場みたいなところの中でかわいい物を売っている店を案内してくれました。お父さんと初めて会ったのは家に帰ってからで、最初は少し恐いのかなと思いましたが、すごく優しくかったです。夕食のとき、話をしているとお父さんのハンリックは刑務所の監視員で、お母さんのカレンはシェフというのを知りました。そのおかげで、家で食べるご飯は全部私たちの口に合っていておいしかったです。家ではクララと折り紙をしたり、私が持っていた紙風船で遊んだりしながら、だんだん自分から話しかけることができようになりました。言葉が通じないときもありました

研修の思い出

たが、ジェスチャーや単語だけで伝えようとかんがべりま
した。^{でき}

学校ではBCCの楽しい先生たちがいろいろなおもしろ
い授業をしてくださいました。また、初めて学校に行った
日、クララと友達が私たちのために作ってくれていたビーズの
ネックレスをくれました。すごくうれしが、たです。その友達
はいつもクララや私たちと一緒にいたのですぐに仲良くなま
しました。今では私の友達です。

私はこのホームステイ事業に参加して、実際にオース
トラリアに行く前に目標としていた『積極的に話
かけて、友達をたくさん作りたい』というのを実行できた
と思いました。私は今までど「ちろが」というと消極的
な方でしたが、オーストラリアでは思っていたより積極的に
にオーストラリアの人々に話しかけることができましたし、それ
によって英語力をつけることもできました。外国の人と
も、コミュニケーションがとれるようになったら、またオ
ーストラリアを訪ねてみたいと思います。



校時のバスにて



ホストファミリーと一緒に



カンガルーにえさをやり した

研修の思い出

中学校2年

ホームステイ家族: ac onal
お父さん: ai お母さん: usan
子ども: tace & atthe

思い出 スト3!

- 1 バラジューラ学校
- 2 家族で海に行ったこと
- 3 後の日にデパートに行ったこと

僕がお世話になったホストファミリーの方は、お父さんのデービッドは、とても明るい人で、僕たちにいつもやさしくおしゃべりしてくれました。次に、お母さんのスーザンは、とても優しくいつも僕たちに話しかけてくれました。お姉さんのステージーは、料理などを作ってくれました。弟のマシューは、とても元気がよくていつも僕たちと一緒に行動しました。お土産で持ってきたけん玉で楽しく遊んでくれました。

よかったです。みんながとてもやさしくしてくれたことです。他にも、いろいろな所に行けたのでとてもよかったです。きつかったことは、飛行機の中で寝れなかったことです。座る広さがあまりなくとてもおぼろしい感じが、たです。

学校に行くとき毎日たくさん生徒が僕たちの所に来ていました。

よく分らない英語をたくさん言うので訳がわからなくなりました。たです。

研修の思い出

よかったこと ・ 達 た さん できたこと	見つかったこと ・ 行 に乗る 長かったこと
-----------------------------	------------------------------

た。

僕はこの石井研修でいろいろなことを体験することができました。言葉や文化が違う国での生活では、何でも自分のことは自分でやるなことを学びました。また、積極的に行動することが大切だと感じました。まだまだ、自分の英語があまり通じなかつたので今度もしまた、機会があればもっとも、と英語を勉強して日本語と同じような会話ができるようになりたいなと思いました。

手 ったもの ・ 内食	おいしかったもの ・ ランチ ・ マフィン ・ ホットドッグ
----------------	--------------------------------------



ビーチでとった写真



家族の写真



マシューの 達との写真

研修の思い出

中学校2年

ホームステイ家族: en on

お父さん: a ian お母さん: a



はじめての海外 & ホームステイ

18日、ホームステイ事業の1日目、福岡空こうから飛行機に
乗り、シンガポールへ、空こうの中はでかいよ、きれいの
とその2つがはじめて海外で思った事、空こうの中には、
いろいろな店がいっぱいありました。シンガポールから
パースへ、ついたのは19日深夜でした。次の日の空こうとステイ
ファミリーに会う事にワクワクだった。2日目、海に行きたが
雨と風で波がざんねんあれていました。その後ショッピングに
行ってあめと風せんをかいた。それで、学校に行き、
ステイファミリーの方々に会った。バムに会って、私は
なにを話しているのかわかんないで、道にバム達からの
うつもんも分かんなくてどうしようとなやみました。
私たちが行ったファミリーは、学校の先生バムとパートナー
のタミアンの2人でした。だから子供がおったらどんな
だったんだろうと思います。バムの家に入った時、すごい
なあと思ったこと、まず"テレビ"でかいよ、ソファーおおきいよ
コカコーラありすぎ、アトムもあるよ、おどろきばかり
でした。3日目、はじめての学校、おおきいなあと思った。
休み時間、教室の外に出ると、いっせいに生徒がぶあーと
話しかけてくる。話しかけてくれるのはうれしいけど、英語

研修の思い出

がわかんない、それで周りをかこまねていてうごきたくても
うごけないのにビクッリ！でも友達はずっとそばにいました。
日本とちがってフレンドリーななまと思った。日本は、
外国とくらべて人見知りが多いと思った。やっぱり、日本で
ちがうなと実感した。
あたり前と思っていた事は、外国では授業ではコマラのおめんを
つくったり、オーストリアのケーキをつくったりした。
4日目のお昼、カフオンナムワイルドドライブパークに行った。
カニガムーにえさやりたり、コマラにさわったりした。
とてもたのしかった、かっこよかった。
学校では、休み時間 男の子達といっしょにあそんだり、
しゃべったりした。英語はわかんなかったけどみんなやさしくしてくれた。
学校最っとう日に私はけがをうてしまった。最後の最後
にみんなにめんわくをにかけてしまった。
でも、私はホームステイに行き、日本とオーストリア
のちがいがわかったり、うてよかったです。
また、まかいがせつたい、行きたいです。
もうちょっと英語を勉強して、



みやこ町
ホームステイ事業
アンケート調査

—研修生編—

2007 企画調整課

今回のホームステイ研修に
ついておたずねします。



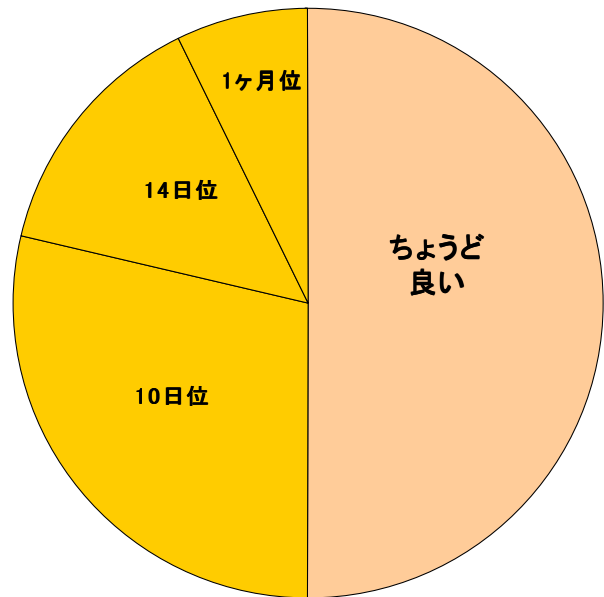
写真:コテスロ・ビーチを目前に

問1. 研修の日数について

① 長すぎた	0人	0.0%
② 短すぎた	7人	50.0%
③ ちょうど良い	7人	50.0%

○「②短すぎた」の内訳

10日くらいがよい	4人
12日くらいがよい	0人
14日くらいがよい	2人
1ヶ月くらいがよい	1人

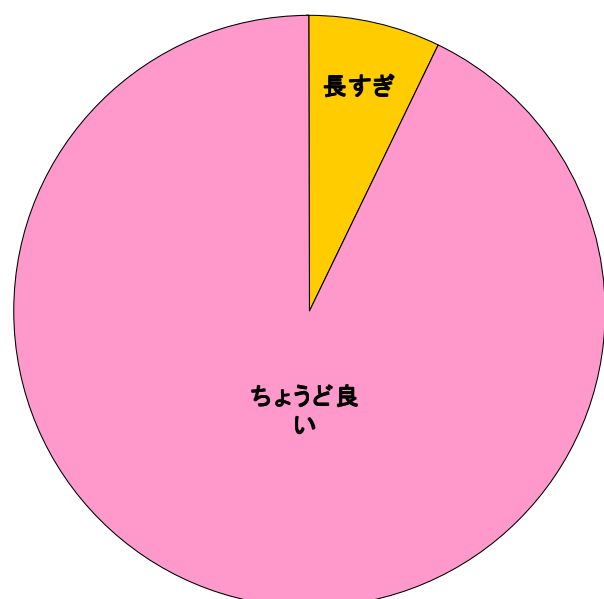


問2. 授業時間について

① 長すぎた	1人	7.1%
② 短すぎた	0人	0.0%
③ ちょうど良い	13人	92.9%

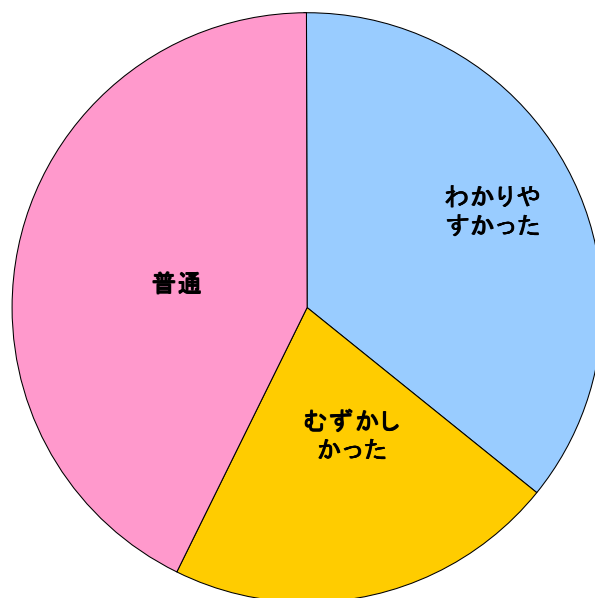
○「①長すぎた」の内訳

3時間くらいがよい	1人
-----------	----



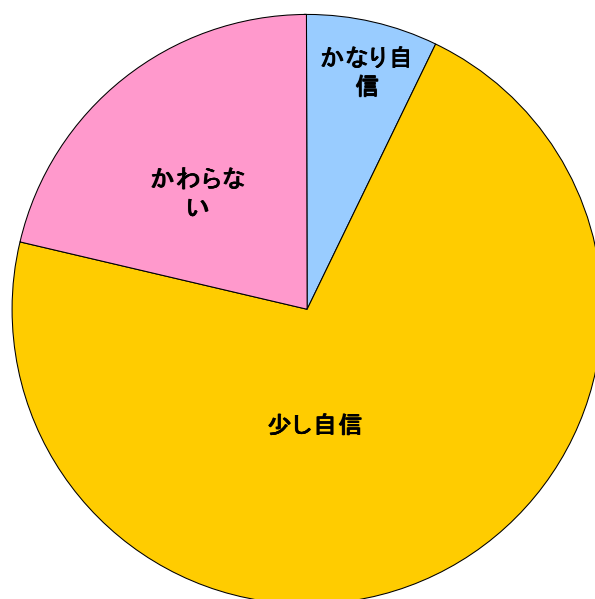
問3. 授業内容について

① わかりやすかった	5人	35.7%
② むずかしかった	3人	21.4%
③ 普通	6人	42.9%



問4. 授業を受けて英語(英会話)に

① かなり自信がついた	1人	7.1%
② 少し自信がついた	10人	71.4%
③ かわらない	3人	21.4%



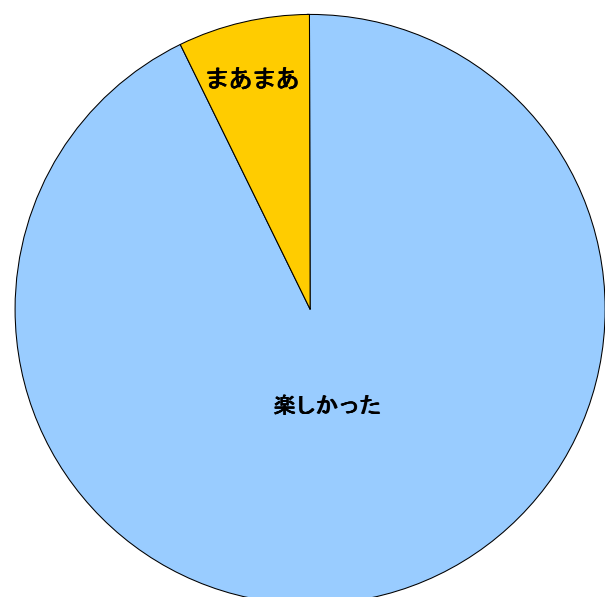
問5. 授業で一番思い出に残ったこと

- 先生や生徒に自分の英語が通じたこと
- 日本語で授業をしたこと
- 名前をカタカナで書いてあげたら喜んでくれたこと
- フットボールをしたこと
- ベリンダ先生の授業
- みんなで歌をうたったこと

.....etc

問6. 午後のアクティビティ (市内散策)について

① 楽しかった	13人	92.9%
② 楽しく なかった	0人	0%
③ まあまあ だった	1人	7.1%

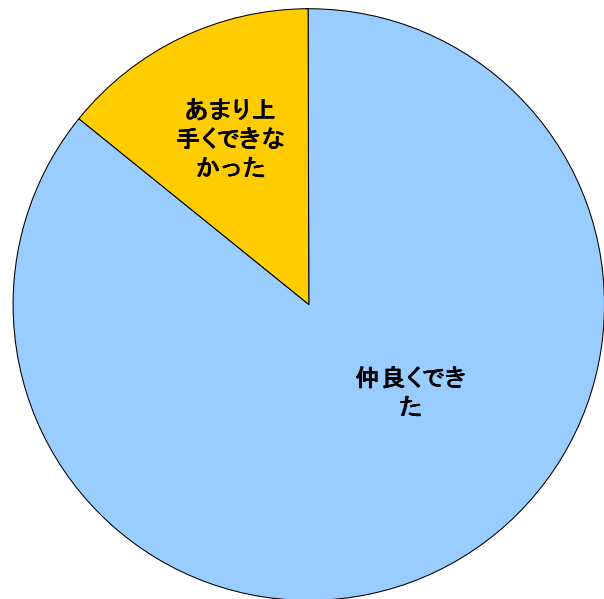


問7. ホストファミリーとの生活について

① 仲良く生活できた	12人	85.7%
② あまり上手く生活できなかった	2人	14.3%

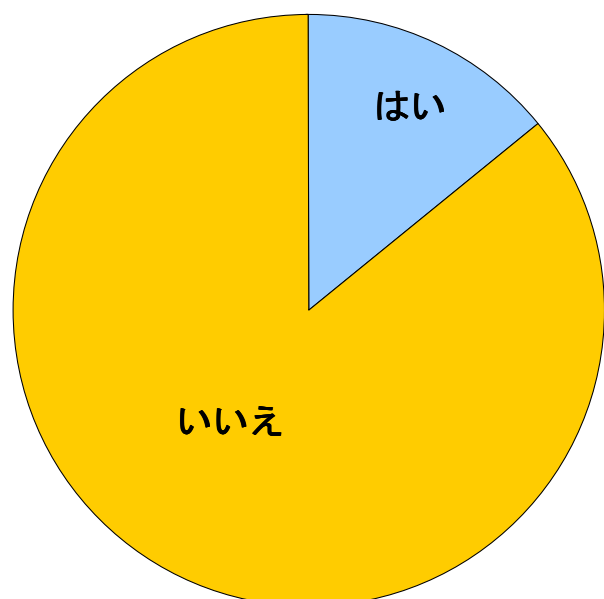
○②の理由

- ホストの子とうまくなじめなかったから。
- 自主的に話しかけられなかったから。



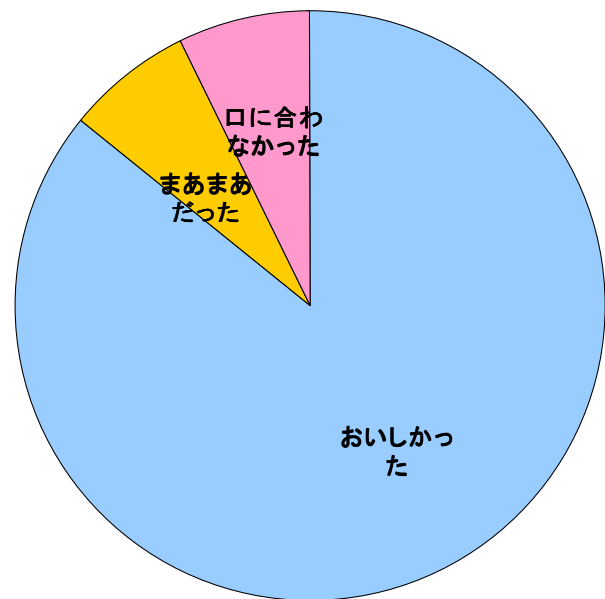
問8. ホームシックにかかりましたか

① はい	2人	14.3%
② いいえ	12人	85.7%



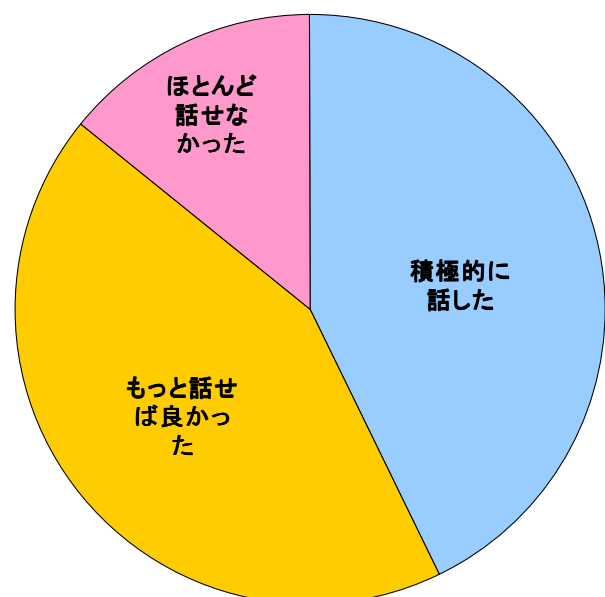
問9. ホームステイでの食事について

① おいしかった	12人	85.7%
② まあまあだった	1人	7.1%
③ 口に合わなかった	1人	7.1%



問10. ホストファミリーとの会話について

① 自分なりの英語力で積極的に話した	6人	42.9%
② もっと自分から話せば良かったと思う	6人	42.9%
③ ほとんど話せなかった	2人	14.2%



問11. ホストファミリーと何をして 過ごしましたか

- お話し
- サッカー
- フットボール
- ボーリング
- ショッピング
- 折り紙、けん玉、紙ふうせん
- UNO
- 海に行った
- ジェンガー
- ゲーム

- おはじき
- 指人形
- ドライブ
- 早口言葉
- 日本(語)のこと
- 公園で近所の人と遊んだ
- ピクニック
- 夜景を見にいった
- 卓球
- クッキング

...etc

問12. ホストファミリーとの 一番の思い出は

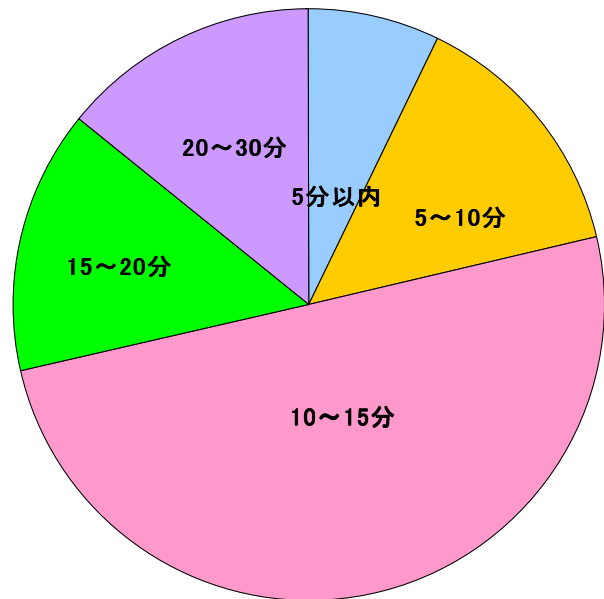
- ボーリングをしたこと
- 「あなたは家族の一人よ」と言ってくれたこと
- おいしいご飯を食べたこと
- たくさんおしゃべりしたこと
- ショッピングに行って一緒に買い物したこと
- 近所の人達と一緒に遊んだこと

- ピクニックに行ったこと
- お隣さんとみんなでショッピングしたこと
- 日本語や早口言葉で遊んだこと
- おでかけしたこと

...etc

問13. ホスト先から学校までの 通学時間について

①	5分以内	1人	7.1%
②	5～10分	2人	14.3%
③	10～15分	7人	50.0%
④	15～20分	2人	14.3%
⑤	20～30分	2人	14.3%



問14. 日本とオーストラリアとの ちがいで気づいたところ

- 食べ物の量が多い
- みんな元気で明るく、とてもやさしかった
- ごはんがなかった
- 歩行者信号が短い
- 肉が多い
- トイレが家にたくさんある
- よくゲップをする
- ビルが少ない
- 休み時間お菓子を食べられる

- 学生がこじやれている
- 炭酸飲料が多い
- テンションが高い
- すぐにほめてくれる
- 甘い食べ物が多い
- 靴のまま家に入る
- 車のスピードが速い
- 水がとても貴重
- みんなシートベルトを締める

問15. 持っていけばよかったと思った物

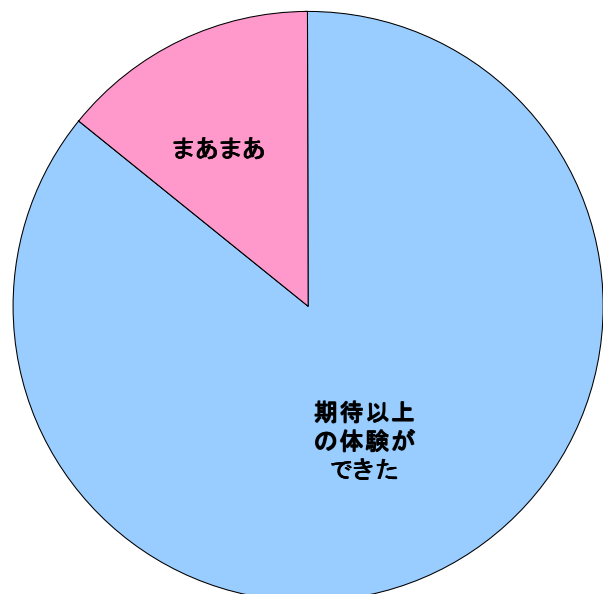
- 特になし
- おみやげ
- デジカメの予備カード
- 日本語の本
- 自分たちの写真
- プリクラ



写真:フリーマントルの街並み

問16. この事業に参加しての感想

① 期待以上に良い体験ができた	12人	85.7%
② 期待していた程でもなかった	0人	0.0%
③ まあまあだった	2人	14.3%



みやこ町
ホームステイ事業
アンケート調査

—保護者編—

2007 企画調整課

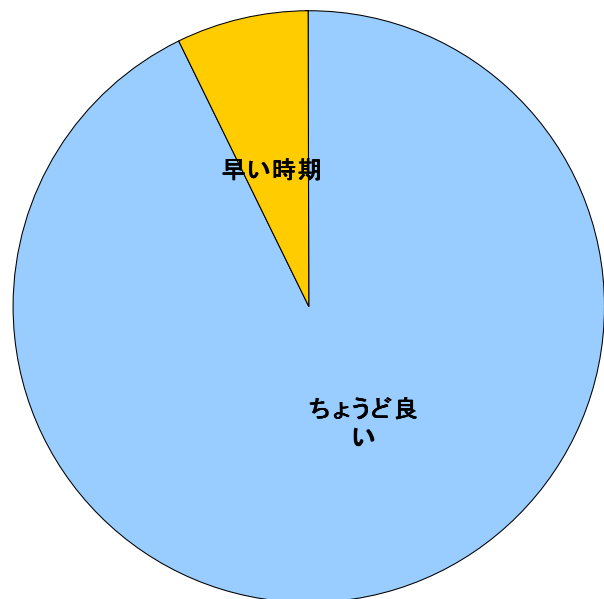
今回のホームステイ研修に
ついておたずねします。



写真:キングス・パークからの風景

問1. 研修の実施時期について

① ちょうど良い	13人	92.9%
② 早い時期が良い	1人	7.1%
遅い時期が良い	0人	0.0%
無回答	0人	0.0%

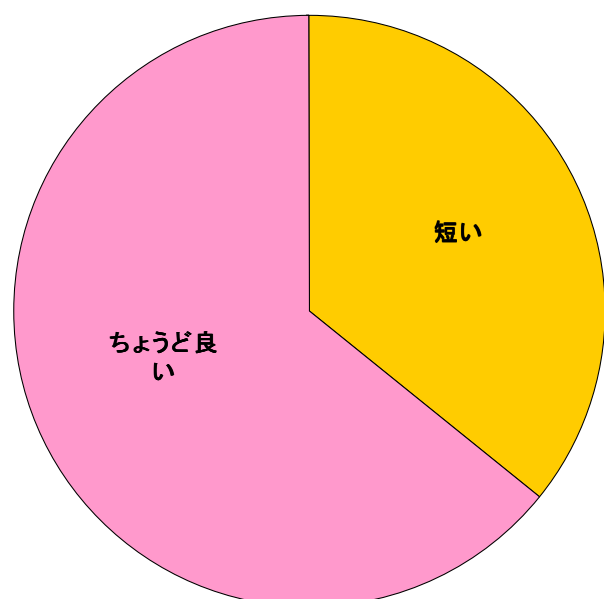


※コメント

夏休み始めごろ

問2. 研修日数について

① 長い	0人	0.0%
② 短い	5人	35.7%
③ ちょうど良い	9人	64.3%

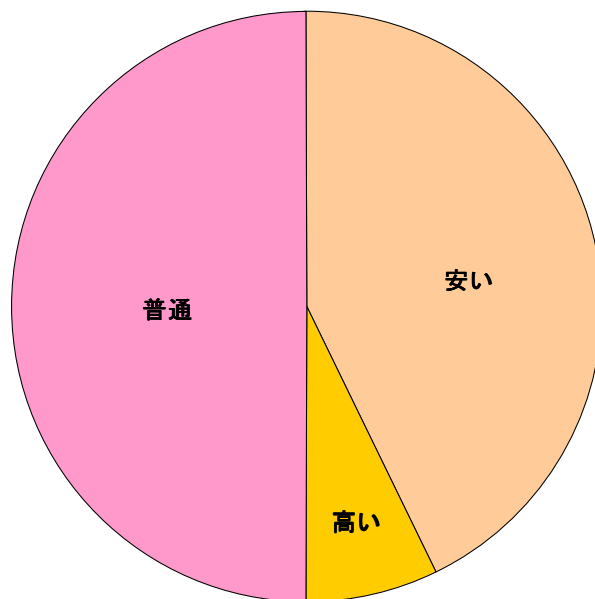


※コメント

10日間、2週間程度

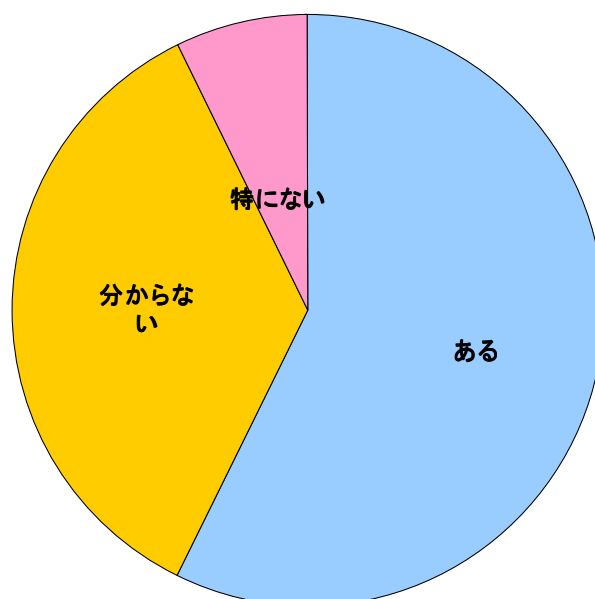
問3. 研修費用について

① 安い	6人	42.9%
② 高い	1人	7.1%
③ 普通	7人	50.0%



問4. 研修を終わってお子さんの生活態度の変化について

① ある	8人	57.1%
② 分からない	5人	35.7%
③ 特にない	1人	7.1%

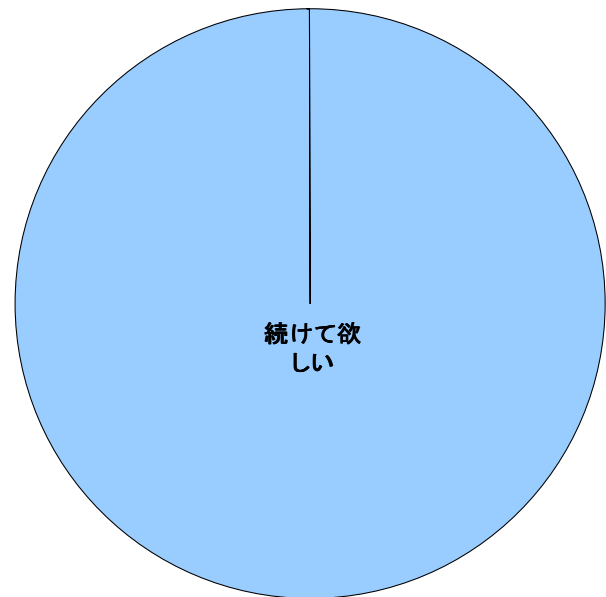


※コメント

- 少し積極的になった
- 英語に興味をもつようになった
- 外国の異文化や人達に触れ、自分の世界が大きく変わったよう。
- 友達も多くなって明るくなった
- 自信になったよう
- もう1回行きたいと言っていた
- 感動的な体験をしたようです

問5. ホームステイ事業について

① 継続して続けて欲しい	14人	100%
② あまり効果がないのでやめたほうが良い	0人	0.0%
③ よくわからない	0人	0.0%



問6. ホームステイ事業へのご意見・感想について①

- オーストラリアの子どもたちをホームステイを受けるというのはどうでしょうか。お互いの国を知り、国際交流を深められれば素敵です。感想文はとても素直な感想が書けており、感謝の気持ちも持っているようです。ぜひホストファミリーにも読んでいただきたいと思います。
- 話や写真で楽しく過ごせたことがよくわかりました。この経験は一生心に残ることだと思います。不安もありましたが、本人は全然大丈夫だったようです。家族との会話も文明の力に任せなんなくこなせたようです。関係者様大変お疲れ様でした。
- 参加させていただいたことに大変感謝いたします。今後、たくさんの感動を胸にもっといろいろな経験をさせていきたいと思っています。
- とても楽しい8日間だったようです。不安げな出発の時とは違って、少し自信がついてちょっぴり大人になった気がします。ホームステイ先のご家族には迷惑をかけたことと思いますが、親元を離れ、異文化にふれ、子どもたちにはかけがえのない体験になったと思います。ありがとうございました。
- 複数人で一つの家庭にステイするのではなく、英語を話さなければならない環境でホームステイをすることを考える方が得策と思います。
- 無事に帰ってきてホッとしています。日記を読むとホームステイ先の方々に浴していただいたみたいで、スタッフの方々本当にありがとうございました。
- 子どもを安心して行かせられる企画だと思います、ずっと続けてほしいと思います。

問6. ホームステイ事業へのご意見・感想について②

- この事業を今後もぜひ続けていただきたいと思います、子どもに貴重な体験をさせていただきありがとうございました。大変お世話になりました。
- このホームステイ事業での海外へ行くことの素晴らしさを知っている人があまりいないように思えます。これから海外へ行くことの素晴らしさをもっと多くの中学生に知ってもらいたいし、広い視野を持って欲しいです。ホームステイの素晴らしさを伝えていきたいし、子どもにも後輩にも伝えさせていきたいです。
- 昨年と今年を振り返ると良くなってきていると感じました。事前研修も昨年より内容がよくなってきてましたし、広報紙でも取り扱われていて、この事業に参加したいと希望している小学生の声を多く聞きます。これからも続けてほしいと希望します。
- 元気に帰ってきてくれたのでホッとしました。ホストファミリーの方や同行していただいた職員の方が心配りをしてくださったおかげだと思えます。「最初はよく聞き取れなかったけどだんだん分かるようになってきたよ」と話してくれました。この研修をきっかけにもっと英語や世界の出来事に興味を持ってほしいと思えます。
- 大変お世話になりました。子どもなりに頑張ったみたいなので何かプラスになったと思います。
- 希望者全員が参加できるようにしていただきたい。小～中学校まで幅を拡大してもよいのでは。

ご協力ありがとうございました。



写真: キングス・パークからシティをバックに

終わりに

8月18日から8日間、親元を離れ、7千キロの彼方で言葉の壁を乗り越え、オーストラリアに行き生活してきました。研修生は、ホームステイや学校での交流を通して、普段では体験できない生活をし、身をもって英会話や国際交流に取り組んできました。

受け入れ先のホストファミリーやホストスクールでは、温かい歓迎を受け楽しく生活することができたようです。もちろんことばや、文化、生活の違いなどの壁は予想したよりも高かったと感じた研修生もいたようですが、心はそのような壁をはるかに乗り越えたようです。

研修生達は、わからないことだらけだったこと、失敗したこと、うれしかったことなどありますが、新たな可能性を見出したこと、また、日本でのごく当たり前の生活が、実は自分にとって、とても大切であったことなど、この貴重な経験の中で学ぶところも多かったと思います。日本でも、自ら主体的に、あるいは積極的に取り組む精神を忘れず、今後の生活に生かしてくれることを期待しています。

オーストラリアは、国土も広大で、人々もおおらかでゆったりとした感じがしました。しかし、オーストラリアでは自分のことには自分で責任を持たなければならないという風潮があります。また、道路の横断歩道では、歩行者用の青信号はものの数秒で赤になってしまいます。待たなしのきびしさもあります。

以上、簡単ですが、研修の報告とさせていただきます。

企画調整課 進 光晴

6月からの事前研修に始まり、2ヶ月以上にわたった今年度のホームステイ事業。オーストラリアでの本研修も終わってしまうとあっという間の8日間でした。言葉や文化の違いはもちろん、長時間の飛行機や空港での長い待ち時間など、精神的にも体力的にも本当に大変な体験だったと思います。

今年の事業で特に心に残ったことは、同年代の生徒同士を比較したとき、いい意味でも悪い意味でもオーストラリアの生徒が日本の生徒より進んでいたところ。うまく表現できませんが、自己が確立しているという感じでしょうか。反対に日本の生徒はとても素直で、いい意味で純粋で幼さが残っている気がしました。

今回の研修をきっかけに、研修生たちが日本人のアイデンティティーを忘れず、様々な文化や価値観に触れて、視野の広い、心の大きな人間になってくれることを願います。

最後に、研修生にチャンスを与えてくださった保護者の皆様、参加を希望した研修生のみなさん、また、本事業にご協力をいただいたすべての皆様に感謝いたします。

企画調整課 熊田 裕介